

平成 24 年度事業状況報告について

1. 民族学・文化人類学等普及事業

一般市民を対象に、民族学・文化人類学の普及のため、国内唯一の民族学・文化人類学の研究センターである国立民族学博物館の協力のもと、学術情報をわかりやすく提供する各種事業を企画・実施。

1) 国立民族学博物館収蔵資料「梅棹忠夫アーカイブズ」の整理及びデータの整備

平成 24 年度実績：デジタル画像化（スキャニング）件数：9,470 ファイル

データの整理と更新件数：9,266 件

2) 民族学・文化人類学の研究促進・普及を目的とした図書の企画・編集・発行

一般市民を対象とする家庭学術雑誌『季刊民族学』4号(140号～143号)の編集、発行をおこなった。

140号：主な記事「海域アジアの要ジャワのテー・ボトル」

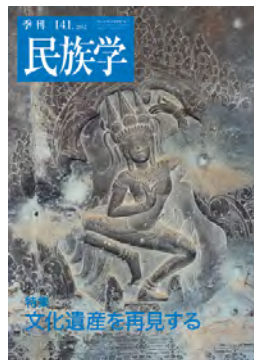
141号：特集「文化遺産を再見する」

142号：主な記事「三陸沿岸に生きる」

143号：主な記事「ふたつのお茶 — 変貌するミャンマーの喫茶事情」



『季刊民族学 140号』



『季刊民族学 141号』



『季刊民族学 142号』



『季刊民族学 143号』

3) 民族学・文化人類学の普及を目的とした各種講演会及びセミナー等の企画・運営

「友の会講演会」を大阪で12回、東京他で5回開催した。「みんなく見学会」3回、

「体験セミナー」1回、「民族学研修の旅」2回、ワークショップ2回を下記のとおり実施した。

① 国立民族学博物館友の会講演会

大阪：毎月第1土曜日 14:00～15:00 国立民族学博物館（懇談会 15:10～16:10）

通算回数（開催日）：講師(所属) / 「演題」 / 参加人数

第406回（4月7日）：樫永 真佐夫（民博准教授） /

「ベトナム北部山地における盆地民と山地民」 / 39名

- 第 407 回 (5 月 5 日) : 久保 正敏 (民博教授) /
特別展「今和次郎 採集講義」関連「考現学と民族学」/42 名
- 第 408 回 (6 月 2 日) : 久保 正敏 (民博教授) /特別展「今和次郎 採集講義」関連
「タイムカプセルとしての民家模型 — なぜ縮尺が 1/10 なのか」/40 名
- 第 409 回 (7 月 7 日) : 白川 千尋 (民博准教授) /
みんなくコレクションを語る「蚊帳に見えない蚊帳のはなし」/38 名
- 第 410 回 (8 月 4 日) : 田村 克己 (民博教授) /
「ビルマ/ミャンマーの「絆」の力」/36 名
- 第 411 回 (9 月 1 日) : 吉田 憲司 (民博教授) /「聖書を生きる人びと
— 南部アフリカにおけるキリスト教独立教会の現在」/32 名
- 第 412 回 (10 月 6 日) : 吉本 忍 (民博教授) /
特別展「世界の織機と織物」関連「世界の織機と異形の織物」/38 名
- 第 413 回 (11 月 3 日) : 三尾 稔 (民博准教授) /ビデオテークより
「祭礼の変容を映像で見る — インド・グジャラートの女神祭礼」/32 名
- 第 414 回 (12 月 1 日) : 南 真木人 (民博准教授) /
みんなくコレクションを語る「ネパールの金のはなし」/33 名
- 第 415 回 (1 月 5 日) : 宇田川 妙子 (民博准教授) /
「時間の変わり目 — クリスマスからイースターにかけての祝祭から」/50 名
- 第 416 回 (2 月 2 日) : 齋藤 玲子 (民博助教) /
みんなくコレクションを語る「明治～昭和初期の樺太資料の収集者たち」/39 名
- 第 417 回 (3 月 2 日) : 小林 繁樹 (民博教授) /
フィールドワークを語る「ヨソモノが感じ、考えたこと」/35 名

東京 : 14:00~15:00 (懇談会 15:10~16:10)

通算回数 (開催日) : 講師 (所属) /開催場所 /「演題」 /参加人数

- 第 101 回 (4 月 15 日・日) : 横山 廣子 (民博准教授) /モンベル渋谷店 5F サロン /
ビデオテークより「ペー族の映像民族誌 — 制作過程で考えること」/33 名
- 第 102 回 (6 月 9 日・土) : 小林 繁樹 (民博教授) /江戸東京博物館学習室 /
「貨幣経済を問う視点」/19 名
- 第 103 回 (9 月 22 日・土) : 竹沢 尚一郎 (民博教授) /アフリカ料理レストラン「カラバッシュ」 /
講演会&食事会「アフリカを食べる」/41 名
- 第 104 回 (12 月 9 日・日) : 陳 天璽 (民博准教授) /JICA 横浜会議室 /
「世界のパスポート/パスポートの世界」/73 名
- 第 105 回 (3 月 30 日・土) : 深澤 秀夫 (東京外国語大学教授)・飯田 卓 (民博准教授) /
JICA 市ヶ谷ビル セミナールーム 600 / 特別展「マダガスカル」関連
「何処にでもある何処にもない世界 マダガスカル」/60 名

② みんなく見学会 大阪：土曜日 15:10～16:10、国立民族学博物館展示場で開催

通算回数（開催日）：「展示名」 / 講師(所属) / 参加人数

第 47 回（5 月 5 日）：特別展「今和次郎 採集講義」/久保 正敏（民博教授）/30 名

第 48 回（6 月 2 日）：特別展「今和次郎 採集講義」/久保 正敏（民博教授）/32 名

第 49 回（10 月 6 日）：特別展「世界の織機と織物」/吉本 忍（民博教授）/27 名



第 47 回みんなく見学会



第 49 回みんなく見学会

③ 体験セミナー

通算回数（開催日）： 講師(所属) /開催地 /「タイトル」 /参加費 /参加人数

第 65 回（7 月 14 日・土、15 日・日）：岸上 伸啓（民博教授）ほか /高知県 /

「鯨と人の暮らしを考える」/37,500 円 /14 名

第 66 回（10 月 20 日・土、10 月 21 日・日）：日高 真吾（民博准教授）/和歌山県 /

企画展「記憶をつなぐ」関連「稲むらの火祭り」訪問と見学会 /25,500 円 /中止



第 65 回体験セミナー



④ 民族学研修の旅

通算回数 (開催期間) : タイトル / 同行講師(所属) / 参加費(旅行日数・訪問地) / 参加人数

第 80 回 (5 月 17 日～26 日) : アドリア海交易のかがやき—バルカンの歴史・民族を考える/
新免 光比呂 (民博准教授) / 467,000 円 (10 日間・アルバニアほか) / 18 名

第 81 回 (3 月 19 日～28 日) : ミャンマー・タバウン月の祭りを訪ねて — 仏教と精霊ナツ
の儀礼/ 田村 克己 (民博教授) / 386,000 円 (10 日間・ミャンマー) / 16 名



第 80 回海外民族学研修の旅
「サラエボのユダヤ博物館」



第 81 回海外民族学研修の旅
「精霊ナツの神殿」

⑤ ワークショップ

■ 春のみんぱくフォーラム 2013 やっぱりヨーロッパ関連

親子でたのしむ「春よこい！— 東ヨーロッパのお祭り、踊り、おまもり作りで春をよぼう」

主催：財団法人千里文化財団

助成：独立行政法人日本万国博覧会記念機構

協力：国立民族学博物館、一般社団法人関西環境開発センター

会場：EXPO'70 パビリオン、国立民族学博物館 セミナー室

(1) みんなで踊ろう！ — トランシルヴァニアの踊りと歌 (1 月 27 日・日) 240 名

(2) ブルガリアのおまもり・マルテニッツァを作ろう！ (2 月 24 日・日) 107 名



みんなで踊ろう！ — トランシルヴァニアの踊りと歌



ブルガリアのおまもり・マルテニッツァを作ろう！

2. 国立民族学博物館利用促進事業

国立民族学博物館の利用の促進を目的として、一般市民を対象に、各種協力事業を実施することにより利用者の便宜を図る。

1) 国立民族学博物館の展示理解向上及び普及のための教材制作及び頒布事業

- ① 国立民族学博物館 本館展示の『展示ガイド』の編集協力・制作及び頒布
- ② 国立民族学博物館 特別展及び企画展の解説書の編集・制作及び頒布
企画展関連書籍『記憶をつなぐ—津波災害と文化遺産』(千里文化財団編集・発行)
特別展関連書籍『世界の織機と織物』(千里文化財団編集協力)



企画展関連書籍『記憶をつなぐ』



特別展関連書籍『世界の織機と織物』

- ③ 国立民族学博物館の映像資料の複製発行及び頒布、展示品のレプリカ・ポストカード、記念品等の制作及び頒布、現地産民族資料及び民族学・文化人類学関連図書の頒布
平成 24 年度 教材頒布事業実績

番号 区分

・レプリカ、ポストカード類

内容) 砂金の分銅、館銘石、儀礼用マント、ポストカード(134 種)

・現地産民族資料 (約 100 カ国)

内容) 芸能・儀礼資料 (仮面、楽器他)、生活資料 (衣類、嗜好品、装飾品、玩具他)

・民族学・文化人類学関連図書・映像音響資料

内容) 図書 約 4,000 種、ビデオテーププログラム 約 40 種、

映像民族誌シリーズ約 20 種、民族楽器及び歌謡の CD・DVD 約 240 種

・記念品 (オリジナルグッズ)、便宜供与品

内容) クリアファイル、一筆箋、T シャツ、スタンプ、切手、雨傘、乾電池他

- ④ 国立民族学博物館オリジナルカレンダーの編集・発行及び頒布

「2013 年みんなくオリジナルカレンダー 織〈おり〉」



特別展「マダガスカル」オリジナルグッズ
クリアファイル



一筆箋



2013 年みんなくオリジナルカレンダー
織〈おり〉

2) 国立民族学博物館の普及事業

① 「国立民族学博物館友の会」の運営

「国立民族学博物館友の会」は国立民族学博物館と市民の間のかげはしとなる役目を担い、会員に、講演会などの催事や出版物などをおして、民博のさまざまな活動や研究成果を紹介「友の会ニュース」7号(205号～211号)の編集の発行

② 「国立民族学博物館友の会」会員（維持会員・正会員・キャンパスメンバーズ・フリーパス）の増強 平成25年3月現在の登録件数：維持会員(法人74・個人4)、正会員(法人238・個人1,809)、 キャンパスメンバーズ4校、フリーパス(個人のみ118)

③ 国立民族学博物館広報誌『月刊みんぱく』の編集協力・制作及び編集事務を受託し実施

3) 来館者の学習支援事業

① 国立民族学博物館「展示解説シート」の編集協力、制作

日本の文化展示の新構築に伴う解説文・キャプション等の校閲を受託し実施

② 国立民族学博物館展示案内学習支援等業務を受託し実施

③ 国立民族学博物館研究資料整理・情報化及び利用管理業務を受託し実施

④ 民族学資料共同利用窓口業務を受託し実施

⑤ 関連催し物の開催支援及び運営事業

研究公演の運営を受託し実施

- ・研究公演「忘れない絆、絶やさない伝統—震災復興と文化継承を願って—」

日時：6月10日(日) 13:00～15:30

解説：林 勲男(民博准教授)

出演：仰山流笹崎鹿踊保存会 ほか

- ・研究公演「神への祈りと喜びの舞曲—バツハからバルトークへ—」

日時：9月2日(日) 13:30～15:30

司会・解説：新免光比呂(民博准教授)

出演：加勢 百合子(ラミー弦楽四重奏団第一ヴァイオリン奏者)、
セバスチャン・ジャコミ(指揮者、ラミー弦楽四重奏団チェロ奏者)、
工藤 祐意・セシリア(ピアニスト)

- ・研究公演「遠い記憶、呼びさます声—ダナンマル家の南インド古典音楽—」

日時：10月14日(日) 13:30～16:00

司会・解説：寺田 吉孝(民博教授)

出演：B・バーラスブラマニヤン、T・ギリッシュほか

公演出演者の招聘を受託し実施

- ・みんぱく公演「鶺鴒神楽」

日時：10月21日(日) 13:00～14:30

司会：日高 真吾(民博准教授)

解説：橋本 裕之(追手門学院大学特別教授)

出演：鶺鴒神楽神楽衆

4) 国立民族学博物館活動に協力する事業

① 国立民族学博物館特別展に対する広報等の協力活動

国立民族学博物館特別展「今和次郎 採集講義」（春開催）、「世界の織機と織物」（秋開催）、「マダガスカル 霧の森の暮らし」（春開催）に対する協力として各種広報活動をおこなった。

② 博物館学コースにおけるミュージアム・レポート発表会の運営協力業務を受託し実施

3. 博物館活動支援及び調査研究事業

博物館に集積された知的財産を活用するプログラムを企画し、そのあり方を調査研究するとともに博物館活動を支援する。

1) 博物館に集積された資料と情報の活用方法及び博物館等の連携のあり方に関する調査研究

① 出前授業プログラム開発及び普及

実施日：実施場所 / プログラム内容 / 参加人数

- ・ 7月 5日（木）：吹田市山手地区公民館 / 風呂敷 / 18名
- ・ 7月 17日（火）：向日市立第4向陽小学校2年生 / 風呂敷 / 101名
- ・ 11月 19日（月）：京都府乙訓教育局 / 紋切 / 25名
- ・ 11月 25日（日）：キッズプラザ大阪 / イグルー / 50名
- ・ 1月 31日（木）：守口市立三郷幼稚園 / 風呂敷 / 30名
- ・ 2月 28日（木）：山城地区公民館連絡協議会 / 紋切 / 20名
- ・ 3月 2日（土）：長岡京市立長岡第六小学校3年生 / 風呂敷 / 45名



出前授業の様子



出前授業の様子

② 各地の博物館等の施設を活用する巡回展

■ 石川県立歴史博物館 夏季特別展「マンダラ — チベット・ネパールの仏たち」

会期：7月14日（土）～9月2日（日）（51日間）

会場：石川県立歴史博物館 特別展示室

主催：石川県立歴史博物館、国立民族学博物館、財団法人千里文化財団

後援：北國新聞社、NHK 金沢放送局、北陸放送、石川テレビ放送、テレビ金沢、
北陸朝日放送、金沢ケーブルテレビネット、エフエム石川、ラジオかなざわ、
ラジオこまつ、ラジオななお

展示点数：187点

観覧料：大人750円、大学生600円、65歳以上600円、高校生以下無料

入場者数：8,063人

関連イベント：講演会「『般若心経』と色即是空」

日時：7月14日（土）13:30～15:00

講師：立川 武蔵（民博名誉教授）

会場：石川県立歴史博物館 学習ホール

主催：国立民族学博物館友の会、石川県立歴史博物館

参加人数：70名

講演会「日本の曼荼羅文化」

日時：7月28日（土）13:30～15:00

講師：頼富 本宏（種智院大学名誉教授）

会場：石川県立歴史博物館 学習ホール

参加者数：73名

列品解説・フロアトーク

日時：8月4日（土）13:30～14:30

講師：森 雅秀（金沢大学教授）

参加者数：50名以上

国際シンポジウム「チベット美術の過去・現在・未来」

日時：8月25日（土）10:00～16:50

会場：石川県立歴史博物館 学習ホール

主催：金沢大学国際文化資源学研究センター（森 雅秀教授）

協力：石川県立歴史博物館

参加者数：70名以上



石川県立歴史博物館 夏季特別展「マンダラ」展示場の様子

③ 博物館等に収蔵された資料を活用する展覧会

■ 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館 特別陳列「鳥居龍蔵とアイヌ ― 北方へのまなざし」

会期：1月26日（土）～ 3月3日（日）（32日間）

会場：徳島県立博物館（徳島市八万町向寺山）1階企画展示室

主催：鳥居龍蔵記念博物館パワーアップ事業実行委員会

特別協力：国立民族学博物館、財団法人千里文化財団、宇都宮大学 廣瀬隆人研究室

展示点数：306点

観覧料：無料

入場者数：5,465人

関連イベント：ギャラリートーク①

日時：1月26日（土）13：30～14：30

講師：齋藤 玲子（民博助教）

会場：徳島県立博物館 1階企画展示室

参加者数：100名

ギャラリートーク②

日時：2月23日（土）13：30～15：00

講師：廣瀬 隆人（宇都宮大学教授）

会場：徳島県立博物館 1階企画展示室

参加者数：46名

記念講演

日時：2月17日（日）13：30～15：00

講師：佐々木 史郎（民博教授）

会場：徳島県立博物館 イベントホール

参加者数：63名



徳島県立鳥居龍蔵記念博物館
「鳥居龍蔵とアイヌ―北方へのまなざし」



ギャラリートーク
講師：齋藤玲子先生



記念講演
講師：佐々木史郎先生

2) 博物館運営や展示のあり方に関する調査研究

- ① 指定管理者制度における博物館運営に関する調査研究
- ② 巡回展のための什器に関する調査

3) 各地の博物館展示案内等の編集業務

- ① 日本生命財団から、青森県立郷土館展示案内『海を行き交う人たち』の編集協力を受託し実施

(日本生命財団助成による「博物館総合案内・展示案内シリーズ」は、1983年に刊行されてから、日本各地の博物館 59 館をとりあげている。)



青森県立郷土館展示案内『海を行き交う人たち』

- ② 北海道立北方民族博物館から、『北海道立北方民族博物館総合案内』改訂版、滋賀県立琵琶湖博物館から、『滋賀県立琵琶湖博物館総合案内』、野尻湖ナウマンゾウ博物館から、展示解説『ナウマンゾウの狩人をもとめて』改訂版の編集協力を受託し実施

4.文化施設と連携した利用促進及び地域活性化事業

博物館及び周辺施設に集積された資料や情報を活かしながら、各施設と連携し一般市民に情報を享受する機会を創出する。

1) 万博公園賑わい創出支援事業の実施

■ スタンプラリー「万博・民博ものがたり」

会期：9月13日(木)～11月27日(火)(76日間)

会場：万博記念公園内各施設(国立民族学博物館、EXPO'70パビリオン、大阪日本民芸館ほか)

広報活動：JR大阪駅、御堂筋 Kappo2012

主催：財団法人千里文化財団

助成：独立行政法人日本万国博覧会記念機構

協力：国立民族学博物館

参加人数：約 32,000 人



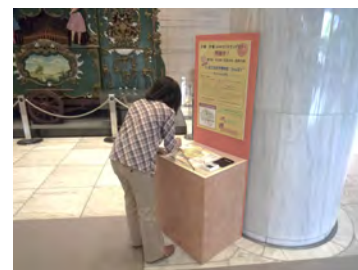
スタンプラリー「万博・民博ものがたり」スタンプ帳(表面と裏面)



万博・民博の広報活動の様子
(御堂筋 Kappo)



万博・民博の広報活動の様子
(JR大阪駅構内)



スタンプ台(設置場所：民博)

2) 季刊誌『森発見』の編集・制作

季刊誌『森発見』：「自立した森再生センター」の活動を紹介した広報誌。「自立した森再生センター」は、日本万国博覧会記念機構が、日本万国博覧会（70年万博）跡地を「自立した森」として再生させる活動を強化するために、平成18年に設立。研究機関や民間団体等との連携により長期的な計画性をもった活動を進めている。

第26号～第29号の編集を日本万国博覧会記念機構から受託し実施

特集 第26号 特集「植物たちの生き残り戦略—何のために花は咲く？」

第27号 特集「都市公園の過去、現在、未来」

第28号 特集「フェアブルの眼で森を観る」

第29号 特集「森にあそび、自然に親しむ—僕らが森へ行く理由」

5.文化活動支援事業

各種文化活動を支援することにより、多様な文化の浸透をめざす。

1) 「松下幸之助花の万博記念賞」選考に関する業務

第21回「松下幸之助花の万博記念賞」選考に関する業務を受託し実施

「松下幸之助花の万博記念賞」：「自然と人間の共生」という花の万博の基本理念の実現に貢献する、すぐれた学術研究や実践活動を顕彰

2) 日本展示学会の事務業務

日本展示学会の事務業務を受託し実施

日本展示学会：展示に関する研究を、技術論だけでなく、社会的・文化的な観点からもひろく研究することを目的とした学会。1982年に、国立民族学博物館において設立された。

3) 同人雑誌『千里眼』の編集・発行

同人雑誌『千里眼』：千里地域に居住あるいは仕事場をもつ知識人による同人雑誌

第118号～第121号の4号の編集を受託し発行



松下幸之助花の万博記念賞
授賞式の案内ポスター



日本展示学会学会誌
『展示学』



同人雑誌『千里眼』

貸借対照表

平成25年 3月31日 現在

科 目	金	額
I 資産の部	円	円
1. 流動資産		
(1) 現金預金	7,395,459	
(2) 未収入金	29,506,259	
(3) 貯蔵品	55,009,787	
流動資産合計		91,911,505
2. 固定資産		
基本財産		
(1) 基本財産特定資産	25,500,000	
基本財産合計		25,500,000
その他の固定資産		
(1) 設備造作	175,190	
(2) 車輜	551,712	
(3) 什器備品	358,038	
(4) 電話加入権	594,951	
(5) ソフトウェア	41,258	
(6) 差入保証金	1,100,000	
その他の固定資産合計		2,821,149
固定資産合計		28,321,149
資産合計		<u>120,232,654</u>

科 目	金 額	額
II 負債の部	円	円
1. 流動負債		
(1) 未払金	110,413,466	
(2) 前受金	150,000	
(3) 預り金	263,406	
流動負債合計		110,826,872
負債合計		110,826,872
III 正味財産の部		
正味財産		9,405,782
(うち基本金)	(25,500,000)	
(うち当期正味財産増加額)	(693,786)	
負債及び正味財産合計		120,232,654